

令和6年  
5月号

# 赤れんが通信

北海道

アンニョンハセヨ！今年の4月から北海道庁国際課に新しく韓国人国際交流員として着任しました宋旻眞（ソン・ミンジン）と申します。今回は自己紹介と併せて自分の出身地と趣味、これから北海道でやりたいことを紹介しようと思います。

## 出身地「全州」

### ① 韓屋の村

私は韓国の全州チョンジュというところから来ました。全州は韓屋かんやの村という、韓国の昔の家が並んでいる町がある地域としてとても、有名な観光スポットです。韓屋の村で韓国の昔の街並みを味わえるのは勿論、韓国の伝統衣装の「韓服」も着ることができます。韓服以外にも昔の王様が着た服の袞こんりょうや韓国武士の衣装まで、様々な韓国の着物を体験できます。そのため全州は毎日、韓服を着て写真を撮る観光客で溢れています。



ちなみに横にある写真の主人公は私です！

### ② ビビンパの中でもトップ！「全州ビビンパ」

全州チョンジュは北海道と同じくご飯が美味しい地域で、その中でも全州ビビンパチョンジュが有名です。ビビンパとは、ご飯に肉やナムル（韓国のおかず）など、多様な薬味を入れて混ぜて食べる料理です。全州チョンジュは昔から農業が盛んな地域で、新鮮な野菜が採れます。その新鮮な野菜でビビンパを作るため、ビビンパの味は逸品！コンビニで全州ビビンパ味のおにぎりがあるぐらい、ビビンパは全州チョンジュを代表とする食べ物として位置づけられています。



### ③ お土産で大人気、豊年製菓のチョコパイ

北海道のお土産として六花亭のお菓子と白い恋人が有名であるように、  
チョンジュ 全州は豊年製菓というお店で売っているチョコパイがとても有名です。  
ブンニョン 豊年製菓のチョコパイの中にはクリームと共に豊年製菓特製のイチゴジャムが入っています。そのイチゴジャムとチョコの味はスーパーで売っているチョコパイとはまた別の味を出すのです。その他にもチーズ味や抹茶味、イチゴ味など合計7つの味を楽しむことができ、繁忙期の豊年製菓は長蛇の列ができるほど、お土産として売れっ子になっています。韓国の伝統を楽しんでみたい、美味しいご飯が食べたいという方はぜひ！  
チョンジュ 全州を訪ねて、帰りにチョコ

パイを買ってみるのはどうでしょう！



豊年製菓のチョコパイ

## 趣味は？ クロスフィット！

皆さんは「クロスフィット」をご存じでしょうか。クロスフィットとはジムナスティック、ウェイトリフティング、カーディオの3つの要素を組み合わせて行う高強度な運動です。クロスフィットは私の趣味で、現在は札幌市にあるクロスフィットに通っています。札幌に来て驚いたのはクロスフィットを知らない人が多かったことでした。韓国では大学生を中心に

流行っており、「かなりハードな運動」として認識されています。そのため、クロスフィットがどのような運動なのかはほぼ知っています。しかし、日本だとクロスフィットが運動であることを知らない人が多く、実際に札幌市のクロスフィットは私が韓国で通っていたクロスフィットよりメンバーが少なかったです。そこで私は札幌で生活する中で日韓のクロスフィッ

トの違いを経験し、そうして見つけ出した違いを発信してクロスフィットの魅力を北海道の皆さんに知ってもらいたいと思っています。



# これから北海道でやってみたいこと

## ① ゴールデンカムイ聖地巡礼と北海道一周

北海道民なら誰もが知っている漫画、ゴールデンカムイ！実は私、ゴールデンカムイ好きなので、春から秋の間には札幌市にある開拓の村、北海道博物館をはじめに網走監獄や函館の五稜郭などに行き、ゴールデンカムイの聖地を巡りたいと思っています。それでもやはり北海道と言えば雪と豊かな自然！なので、冬になったら必ず網走で流氷列車に乗って知床まで行き、韓国では見られない流氷と共に目の前に広がる真っ白な景色を自分の目に収めたいです。

## ② ウエイトリフティング大会に出る！

韓国でクロスフィットに通っていた時、ウエイトリフティング大会に出てみたいと思っていました。しかし、ちょうどウエイトリフティング大会の日と出国の日が重なってしまい、大会には出られませんでした。そこで私は、韓国で出られなかったら日本で出ればいい！と思い、札幌市でクロスフィットを続けながらウエイトリフティング大会に出るつもりでいます。

### これからの意気込み

これから北海道の国際交流員として北海道と韓国を繋ぐ架け橋として活動して行く中で、私は日韓が互いに理解度を深めることにより「市民レベルでの連帯感」を作ることを目標としています。

私は普段、日韓関係や歴史認識問題に興味を持っていて、大学では複数専攻として外交学を勉強しながら日韓交流会や日韓に関する様々な活動に挑んできました。その過程で文化交流、韓国講座などの活動を通じて、国が持っている特徴(文化)とその特徴を生んだ背景は何かを知ることが相手国を理解するにあって一番であることに気づきました。

そうして私は、韓国と日本の中で両国を繋ぐ架け橋として赤レンガ通信、韓国講座、韓国関連イベント企画などを通して両国に対する理解度を高め、これからの友好的な日韓関係に貢献したいと思っています。



よろしく  
お願いします!

✓ 赤れんが通信  
バックナンバーは  
こちら



✓ 北海道庁  
国際課  
FACEBOOK



✓ 編集者・発行先 総合政策部 国際局 国際課  
北海道札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL : +81-11-204-5091 FAX : +81-11-232-4303